



いしかわウェルカムラウンジ工事状況（旧歴史体験コーナー6.23撮影）

No.110 2014・7・25



発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836
<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/>

ISHIKAWA PREFECTURAL
MUSEUM OF HISTORY

れ
き
は
く

石川県立歴史博物館 リニューアルオープンプレ企画展

加賀藩お抱え絵師

佐々木泉景



平成26年 7月26日(土)～8月31日(日) 火曜日休館

前期 7月26日(土)～8月11日(月)

後期 8月13日(水)～8月31日(日) ※前期・後期で一部展示替えがあります

会場 加賀市美術館(加賀市作見町リ1番地4)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

主催 石川県立歴史博物館・加賀市・加賀市教育委員会

観覧料

一般 400(300)円 75歳以上 200円

高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

佐々木泉景筆 群鹿図屏風(六曲一双のうち右隻)
実性院蔵 加賀市指定文化財 [全期間展示]

関連イベント

講演会 「佐々木泉景とその一門の画業」

講師：北 春千代(石川県立歴史博物館学芸主幹)

日時：8月2日(土) 14:00～15:30

会場：加賀市美術館ロビー

※聴講無料・事前申込不要(先着80名)

ギャラリートーク(全2回)

会場：加賀市美術館展示室

①日時：8月 9日(土) 14:00～

講師：石川県立歴史博物館学芸員

②日時：8月23日(土) 14:00～

講師：加賀市美術館学芸員

※要観覧料・事前申込不要

佐々木泉景(1773～1848)は、加賀市大聖寺出身の狩野派の絵師です。加賀藩の依頼で数々の作画を行い、文化6(1809)年の金沢城二ノ丸御殿障壁画制作の際も、他の絵師より抜き出でて多くの絵を手掛けています。そしてお抱え絵師として活躍する傍ら、長男泉玄をはじめ多くの門人を育てました。

今回は当館リニューアルオープンプレ企画展の最後を飾るものとして、泉景のふるさと加賀市で、佐々木泉景とその一門にスポットを当てた展覧会を開催することとなりました。当館所蔵品はもちろん、加賀市内の寺社がご所蔵の作品や、加賀市美術館所蔵の下絵類、また個人のご秘蔵品をあわせて展示します。

特に、「群鹿図屏風」(実性院蔵・全期間展示)と「瀟湘八景図屏風」(全昌寺蔵・前期展示)、そして「六歌仙図屏風」(願成寺蔵・後期展示)は、昔から加賀市では泉景筆の大作として知られています。名作がそろそろまたとない機会に、狩野派の秀逸なる世界にふれてください。

館長歴史ミニ講話

利家・利長の領地をめぐる

藤井讓治(当館館長)



後加賀国能美・江沼二郡を加えられ、一方石田三成に与した利政は戦後領地を奪われ、能登の

「加越能三国の太守」と称された加賀藩前田家、その領地なかでもその形成過程は、必ずしも明らかではないようです。ここでは、いま確認しうることを、また今後明らかにすべき課題も含めて考えてみたいと思います。

江戸時代後期、幕府が大名・旗本から提出させた系譜をもとに作成された『寛政重修諸家譜』という膨大な系譜があります。そこに記された前田家初期の領地の変遷の概要は次のようなものです。

加賀前田家の祖利家は、天正九年(一五八一)に織田信長から能登一国を、ついで天正十一年の賤ヶ岳の戦いのあと加賀国石川・河北二郡を羽柴秀吉から与えられます。さらに天正十三年、越中佐々攻めのあと越中国砺波・射水・婦負三郡の領有を認められたとしています。ただ越中三郡の領有については、『寛政重修諸家譜』はこれを利長の項にも記し、さらに天正十五年の島津攻めの戦功により、利長が越中新川郡を与えられたとするなど、利家との関係が必ずしも明確ではありません。なお『寛政重修諸家譜』は、天正九年に利長が越前国府中で三万三〇〇〇石を得て府中城に住し、賤ヶ岳の戦いのあと加賀松任四万石に移され、慶長四年(一五九九)、利家の死去にともない、その遺領のうち越中一国と加賀二郡を利長が継ぎ、能登一国は弟に利政に分与されたとしています。

慶長五年の関ヶ原に際し家康に与した利長は、戦

地は利長に与えられ、さらにこのとき、「加賀、能登、越中三国」と馬飼料として近江国高嶋郡二二〇〇石余、合計一九万二七〇〇石余を領することに なったとします。

以上の『寛政重修諸家譜』が描く前田家の領地の変遷は、従来の理解とほぼ一致します。しかし、これらの記述には、いくつかの問題点があります。まず、第一は、天正九年の利長の越前府中三万三〇〇〇石拝領です。越前府中は、この直前まで利家が支配しており、利家が能登に移るにあたって信長から府中の知行を菅屋長頼へ引き渡し、妻子の能登への引越しを厳しく命じられています。にもかかわらず天正十年三月に利家が越前河野浦の山論の裁許をしており、利家の越前での支配の継続が確認され、また賤ヶ岳の戦いの折に利家が府中城に入ったとの所伝もあり、利長の城かは別として越前での前田氏の支配が継続したようです。この点は今後検討していきたいと思います。

二つ目は、能登に一万石あった土方領の成立をめぐる問題です。この点は、あまり大きな関心を持たれないようですが、少し見ておこうと思います。『寛政重修諸家譜』の土方家の項には、関ヶ原の戦いに際し、徳川家康から利長への使いを命じられた土方雄久が、利長に東軍に与するよう説得し、利長がそれを受け入れ、その功によって戦後「越中国野々市」で一万石を与えられたとし、さらにその領地は寛永

三年(一六二六)までの間に能登国羽咋・鳳至・珠洲・能登四郡に移されたとしています。この領地は、僅か一万石ですが、加越能三国のなかに前田氏以外の藩領があったことは注意すべきでしょう。能登への替地は、慶長十一年になされたことが確認できますが、加賀藩の立場からは、土方領は前田家から与えたものと位置づけていますが、將軍からの領知朱印状が出されていることをどう位置づけるか課題です。

三つ目は、加賀藩の石高一九万二七〇〇石余が、慶長六年に定まったかに『寛政重修諸家譜』は記述していますが、実はそうではありません。慶長十九年に利長が死去したあと徳川家康から利常に領知の安堵する判物がですが、そこには「加賀・能登・越中三ヶ国之事、一円被仰付訖」とあり、その領地高は記されていません。では石高が決まるのはいつかということになります。それは、寛永十一年に三代將軍家光が上洛した折、諸大名に一齐に領知判物・朱印状を出した時のことです。この時、利常に与えられた判物に「加賀・越中・能登三箇国百十九万二千七百六十石」とはじめて三国の石高が見えます。この数字は、この領知判物が出されるにあたって前田氏の方から提出した郷村高帳にもとづくものです。ちなみに慶長三年の加賀・能登・越中三国の総高は九万五八六八石です。

最後に近江国高嶋郡の領地ですが、『寛政重修諸家譜』では慶長五年に「馬飼料」として与えられたとしますが、実は文禄四年(一五九五)に利家の室まつ(芳春院)に秀吉から与えられたもので、元和六年(一六二〇)、芳春院の死後、加賀藩領となったものです。

こうした課題も含め、今後も少しずつ、加賀藩のことを考えていきたいと思っています。

平成二十五年度の収蔵資料

今年度は、新たに購入した「加賀藩士 上木家文書」三百五十点のほか、「金沢城二ノ丸絵図巻写」三点、「磯部屋関係文書」十三点、「第七連隊従軍兵士関係資料」二十三点など寄贈資料が六百点で、合せて五十七件・九百五十点を収蔵しました。貴重な資料をご寄贈くださったみなさまのご厚情に心より御礼申し上げます。

当館は、来春のリニューアルオープンに向けて、現在も休館させていたでいております。そのため「れきはくコレクション」展は開催できません。昨年同様、本紙面に新収蔵資料名とご寄贈者のご芳名を掲載させていただきます、これに代えさせていただきます。開館後に、二か年分の新収蔵資料を一堂に集めた企画展示を行いたいと思っております。その際はあらためてご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。（資料課）



28 賀州住藤原家忠刀



57 辰巳上水図巻（加賀藩士上木家文書の内）



38 明治六年地券



50 獅子具



26 豆腐株札

平成25年度収蔵資料一覧（平成25年12月末 現在）

No.	資料名称	点数	寄贈者(敬称略)
考古資料			
1	岩版	1	中島進
歴史資料			
2	駅スタンプ帳	2	塚野秀章
3	絵葉書帳	1	塚野秀章
4	浅井弘五郎所用刀	1	大乘寺
5	西村太冲関係文書	82	富士澤丞
6	第七連隊従軍兵士関係資料	23	村松武雄
7	日露戦争等出兵記念写真	32	大幸甚
8	携帯用地図カバー	1	大幸甚
9	金沢城二ノ丸絵図巻写	3	田嶋正和
10	二十日講法名幅	5	山崎浩一
11	小川家文書	188	小川正英
12	小川家資料	40	小川正英
13	『創立20周年記念金沢市中央公民館合唱団第20回演奏会（朱鷺幻想）』プログラム	1	松田悠美
14	同人誌『朱鷺』	1	松田悠美
15	石川県野鳥園パンフレット	3	松田悠美
16	絵葉書「河北潟の自然」	1	松田悠美
17	石川野鳥の会絵葉書	3	松田悠美
18	北陸新演劇人協会パンフレット	3	中川幾美
19	石川県立金沢第二高等学校独唱会プログラム	1	中川幾美
20	めぐみ合唱会プログラム	2	中川幾美
21	中部日本新聞社主催音楽コンクール発表会プログラム	1	中川幾美
22	新生新派金沢公演パンフレット	1	中川幾美
23	明治大正期徽章	5	中川幾美
24	大谷派本願寺金沢別院本堂上棟式次第	1	中川幾美
25	織物業視察関係資料	6	吉岡茂外子
26	豆腐株札	2	諸橋重紀
27	磯部屋関係文書	13	田嶋正和

No.	資料名称	点数	寄贈者(敬称略)
28	刀「銘 賀州住藤原家忠」	1	藤田つゆみ
29	脇差「銘 清光」	1	藤田つゆみ
30	脇差「銘 日向守藤原廣高」	1	藤田つゆみ
31	短刀「銘 莊司直秀」	1	藤田つゆみ
32	槍	1	松原隆利
33	短刀 無銘	1	松原隆利
34	矢屏風	1	松原隆利
35	弓	1	松原隆利
36	胸当て	1	松原隆利
37	火縄銃木座	1	松原隆利
38	明治六年地券	1	松原隆利
39	星条旗新聞 週間展望（極東軍版）	74	北川利秋
40	星条旗新聞 日刊紙（太平洋版）	2	北川利秋
41	星条旗新聞 クリスマス特集号	4	北川利秋
42	軍用版ポケット文庫本	34	北川利秋
43	雑誌 TIPS	8	北川利秋
44	雑誌 デモクラシー	3	北川利秋
45	雑誌 デュボンマガジン	1	北川利秋
46	米軍隊使用日本地図	2	北川利秋
47	明治・大正・昭和期教科書	26	中野吉隆
48	資産家番付	2	五寶利男
49	金沢飛行場位置図	1	五寶利男
民俗資料			
50	獅子具	1	山崎浩一
51	消防着	1	山崎浩一
52	ラーメン丼鉢	2	松田悠美
53	獅子具	1	山崎修治
54	加賀谷家染織資料	1	加賀谷哲子
55	明治期五寶商店看板	2	五寶利男
56	手動式映写機 一式	1	五寶利男
美術品			
57	加賀藩士上木家文書	350	購入
寄贈・購入資料 合計		950	

新収蔵資料解説

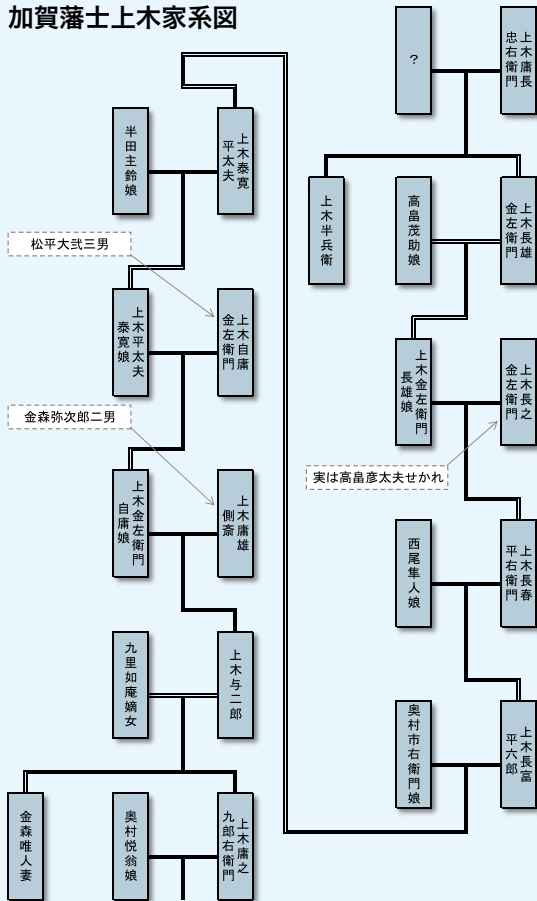
加賀藩士上木家について

新収蔵資料「加賀藩士上木家文書」（本紙3P「平成25年度収蔵資料一覧」No.57）の上木家について紹介します。加賀藩祖前田利家の側室で、四男利常（のち三代藩主）の生母である寿福院という方がいます。『加賀藩史料 編外』の系譜に「越前の人上木新兵衛の女。新兵衛没後その妻藩臣小幡九兵衛に再嫁したるを以て、小幡氏と称せらる」とあり、側室に上がった後、母が再婚したために小幡氏と呼ばれていたといえます。

上木家に残る「由緒帳」を見ると、新兵衛の名は見当たりません。直接の祖とされるのは上木庸長で、関ヶ原の時に利長に召出され慶長七年（一六〇二）に二百

石を拝領、のち利常附を命じられたとされています。次の上木長雄は、利常に召出され三百石を有し、元和五年（一六一九）には父の遺領二百石を弟半兵衛とともに百石ずつ相続し、しだいに加増を受け千二百石を有しました。次の上木長之は高島彦太夫の子が養子に入ったもので、高島は利家の正室芳春院の実家です。この点から、藩の公式な扱いとしては「寿福院の実家は小幡家」としていますが、利常自身は直系の実家として上木家を大切にしていたことが伺えます。さらに長雄の四代あとの上木自庸が、松平大式家から養子に入ったことで大きな動きがありました。小幡家から松平家に出された書状に、「寿福院様の百回忌法要（享保十五年・一七三〇）では当家（小幡）のみが参列したが、上木家も寿福院様の家柄なので百五十回忌の際は声をかけた方がいと思う」とあります。小幡家の松平家に対する配慮と思われるですが、上木家にとっては大きな転機であったに違いありません。年代的な多少を差し引いても、自庸以降、藩政・幕政に関わる書留や書状が多く残されており、各奉職などを務めた上木家は、江戸後期以降の藩政の実務者の一人であったことが理解できます。（資料課長 濱岡伸也）

加賀藩士上木家系図



（資料課長 濱岡伸也）

行事日程（8～10月）

月日	行事	内容
8/15（金）	れきはくゼミナール	金沢町人宮竹屋の歴史と文化（学芸主任 塩崎久代）
9/19（金）	れきはくゼミナール	お代官様は悪人ですか？（資料課長 濱岡伸也）
10/17（金）	れきはくゼミナール	能登 仏像ものがたり（学芸主任 本谷文雄）

◎開講時間…午後二時～（約一時間三十分）

◎会場…石川県立美術館講義室

◎受講料及び申し込み…いずれも不要

※休館中のため、本多の森公園内の石川県立美術館が会場となります。

※駐車場スペースには限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

※美術館講義室の開場は、午後一時三十分です。



れきはくゼミナール



仮事務室（旧学習ホール）

本多の森から

展示室の内装工事もあり、リニューアル工事は順調。また管理部門の部屋も改修されるため、館長以下全職員は旧学習ホールへ移動しての執務となりました。騒音に耐えながら、連日リニューアルに向けての業務に励んでいます。来年春のオープンまで、皆様今しばらくお待ちください！